

2024年度 第1四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

今回の調査では、受注量、受注見通し、採算状況については、前回調査と比較し若干数値は改善したものの、依然としてマイナス傾向。資金繰り、受注余力については前回調査時より更に悪化。受注単価については若干改善。全国的には、大企業の企業景況感が高水準を維持する一方で、府内中小企業の景況感としては、厳しい状況が続いている。なお、生産設備関連での増産見込みや生産ライン自動化の進展などにより、一部では好転への兆しも見受けられた。

<項目別の特徴>

- 受注量 : 業況判断D Iは▲29.5となり、前期のD I値▲32.6と比べ3.1ポイント増加したものの、引き続き低迷。
- 受注見通し : 業況判断D Iは▲12.3となり、前期のD I値▲14.3と比べ2.0ポイント増加したものの、依然マイナス傾向。
- 受注単価 : 業況判断D Iは7.9となり、前期のD I値5.7と比べ2.2ポイント増加と若干増加した。
- 資金繰り : 業況判断D Iは▲13.5となり、前期のD I値▲12.2と比べ1.3ポイント減少し、「悪化」と回答した企業の割合が若干増加した。
- 採算状況 : 業況判断D Iは▲7.2となり、前期のD I値▲8.5と比べ1.3ポイント増加したものの、依然マイナス傾向。
- 受注余力 : 業況判断D Iは56.4となり、前期のD I値44.8と比べ11.6ポイント増加となり、悪化傾向が見られた。
※「受注余力あり」が増加＝マイナス傾向

<分析>

調査対象企業300社のうち21社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

- 大手企業は売り上げを伸ばす一方で、中小企業に対する好影響までには及んでいない。
- 工場の生産設備関連で、秋以降より増産を見込む企業も数社あった。
- 『ゼロゼロ融資』の返済がスタートしたことにより、資金繰りの悪化傾向が見られる。
- 物価高や為替の影響により、原材料価格は高騰、依然高止まり水準。
- 価格改定により価格転嫁が進められているものの、受注減への懸念から光熱費や人件費等の労務費の増加分を着実に転嫁出来ていない状況。
- 新卒採用の募集は困難な中、中途採用、外国人、技能実習生により、人員の確保に努めている。
- 工場の自動化、FA機器の導入を進め、マンパワー不足の解消に励む企業も一部見られた。
- 中国経済減速により、ハイテク分野を中心に需要が減少しており、府内でもかかわる企業は多数であるためマイナスの影響が表れている。

[自動車関連]

- 円安影響による海外調達品やエネルギー価格の高騰、EV車の減速、日本自動車メーカー各社の検査不正問題などもあるが、中小企業への大きな影響としてはエンジン部品の減少や海外生産シフトにより生産総量が減少する方向で、製造ライン縮小化、他業界への拡販で対応する企業も見られた。

[半導体関連]

- 装置製造企業、部品加工企業などにおける好調の報道に反し、中小企業では受注低調で苦しい業績が続いており、一部増産情報もあるが直近での受注増は見込みにくい。

(注) 本報告書で使用するD Iとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2024年4月～2024年6月
(2024年6月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 253社 (回答率 84.3%)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2024年6月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

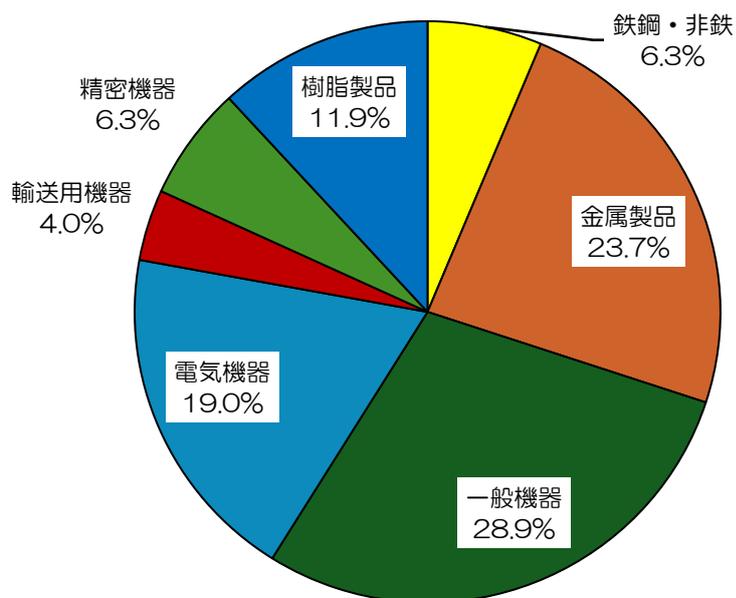
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	253社		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	16社	(6.3%)
	金属製品関係	60社	(23.7%)
	一般機器関係	73社	(28.9%)
	電気機器関係	48社	(19.0%)
	輸送用機器関係	10社	(4.0%)
	精密機器関係	16社	(6.3%)
	樹脂製品関係	30社	(11.9%)
④ 回答率	84.3%		[前回：82.0%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.7%		1 2.1%			3 10.0%
~300万円	21 8.3%		7 11.7%	2 2.7%	4 8.3%	2 20.0%	2 12.5%	4 13.3%
301~999万円	12 4.7%		3 5.0%	6 8.2%		1 10.0%		2 6.7%
1000~2000万円	139 54.9%	10 62.5%	35 58.3%	43 58.9%	25 52.1%	3 30.0%	10 62.5%	13 43.3%
2001~5000万円	55 21.7%	4 25.0%	14 23.3%	17 23.3%	11 22.9%	1 10.0%	2 12.5%	6 20.0%
5000万円超	21 8.3%	2 12.5%		5 6.8%	7 14.6%	3 30.0%	2 12.5%	2 6.7%
合 計	253 100%	16 100%	60 100%	73 100%	48 100%	10 100%	16 100%	30 100%

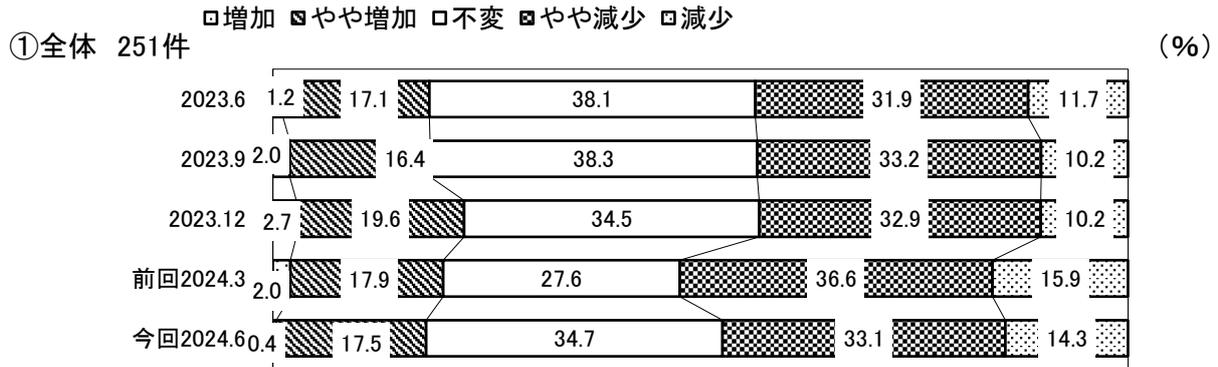
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

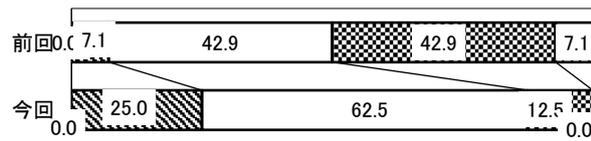
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.5%	3 18.8%	3 5.0%	7 9.6%	3 6.3%			3 10.0%
6~10人	30 11.9%	1 6.3%	6 10.0%	9 12.3%	6 12.5%	2 20.0%	3 18.8%	3 10.0%
11~20人	64 25.3%	2 12.5%	14 23.3%	22 30.1%	10 20.8%	2 20.0%	5 31.3%	9 30.0%
21~30人	39 15.4%	2 12.5%	16 26.7%	14 19.2%	4 8.3%		1 6.3%	2 6.7%
31~50人	41 16.2%	5 31.3%	9 15.0%	10 13.7%	9 18.8%	2 20.0%	3 18.8%	3 10.0%
51人以上	60 23.7%	3 18.8%	12 20.0%	11 15.1%	16 33.3%	4 40.0%	4 25.0%	10 33.3%
合 計	253 100%	16 100%	60 100%	73 100%	48 100%	10 100%	16 100%	30 100%

3. 調査結果

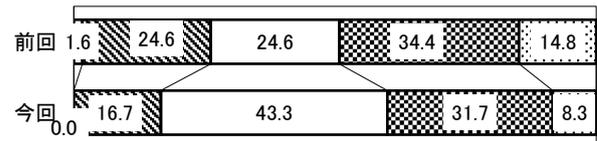
(1) 受注量について



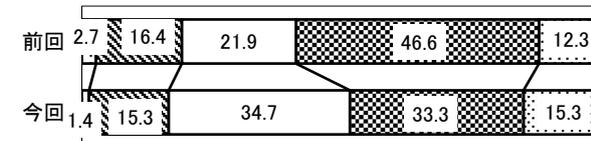
②鉄鋼・非鉄 16件



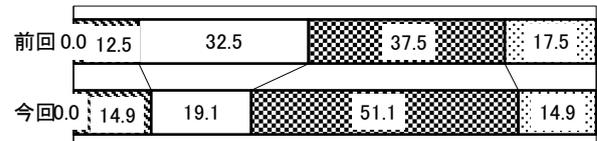
③金属製品 60件



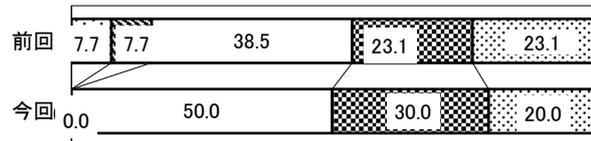
④一般機器 72件



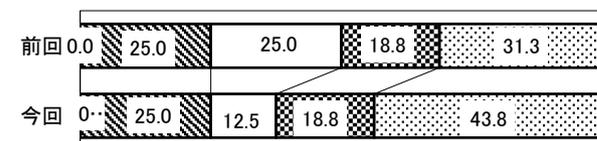
⑤電気機器 47件



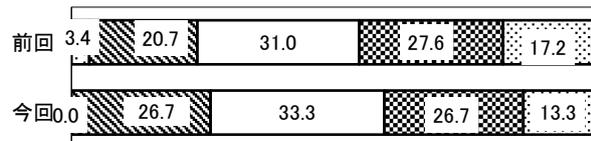
⑥輸送用機器 10件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 30件



○全体

・4月～6月期の受注量の業況判断DI（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲29.5となり、前期（1月～3月期）のDI値▲32.6と比べ3.1ポイント増加と、前回調査時から若干改善した。

○業種別

・DI値は、鉄鋼・非鉄（12.5）の1業種でプラスとなり、樹脂製品（▲13.3）、金属製品（▲23.3）、一般機器（▲31.9）、精密機器（▲37.6）、輸送用機器（▲50.0）、電気機器（▲51.1）の6業種でマイナスとなった。

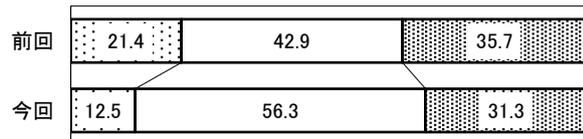
・DI値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（55.4ポイント）、一般機器（7.9ポイント）、樹脂製品（7.4ポイント）の3業種で上昇。金属製品（▲0.3ポイント）、電気機器（▲8.6ポイント）、精密機器（▲12.5ポイント）、輸送用機器（▲19.2ポイント）の4業種で低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

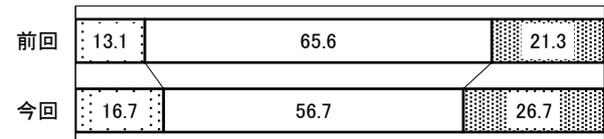
①全体 253件 □増加 □不変 □減少 □不明 (％)



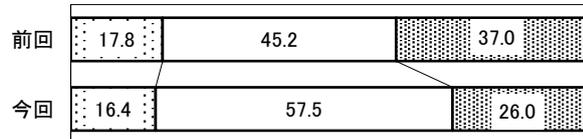
②鉄鋼・非鉄 16件



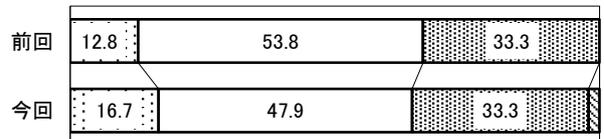
③金属製品 60件



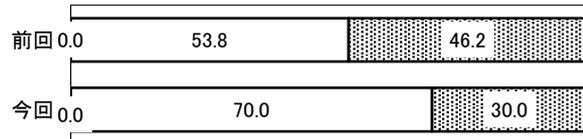
④一般機器 73件



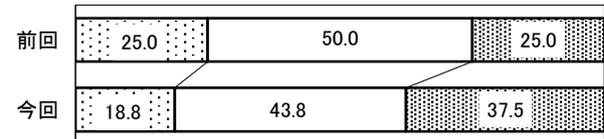
⑤電気機器 48件



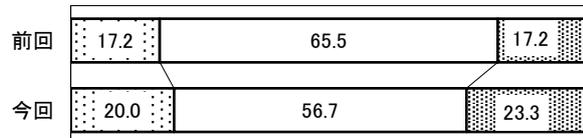
⑥輸送用機器 10件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 30件



○全体

・次期(7月～9月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲12.3となり、前期(4月～6月期)調査時のD I値▲14.3と比べ2.0ポイント上昇し、前回と比較し若干の改善が見られた。

○業種別

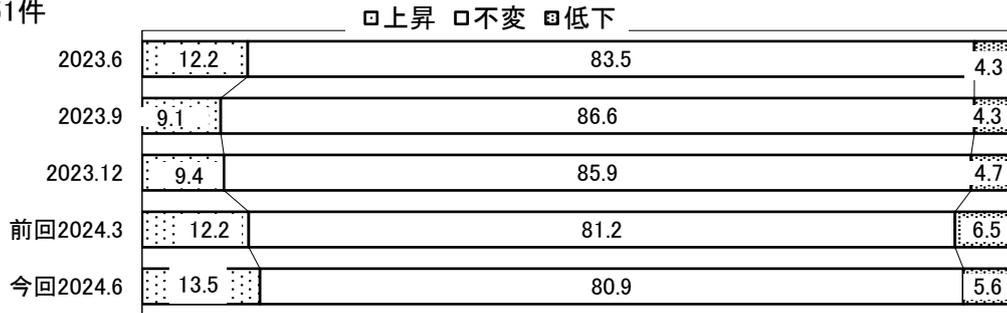
・D I値は、樹脂製品(▲3.3)、一般機器(▲9.6)、金属製品(▲10.0)、電気機器(▲16.6)、精密機器(▲18.7)、鉄鋼・非鉄(▲18.8)、輸送用機器(▲30.0)の7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器(16.2ポイント)、一般機器(9.6ポイント)、電気機器(3.9ポイント)の3業種で上昇。
金属製品(▲1.8ポイント)、樹脂製品(▲3.3ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲4.5ポイント)、精密機器(▲18.7ポイント)の4業種で低下となった。

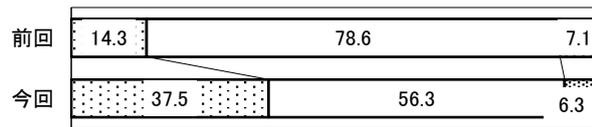
(3) 受注単価について

(%)

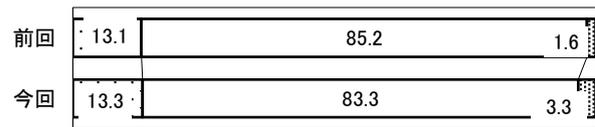
①全体 251件



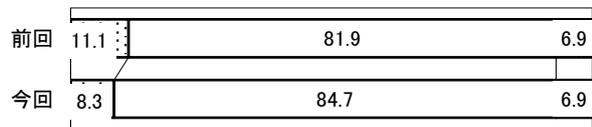
②鉄鋼・非鉄 16件



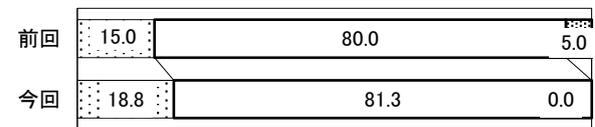
③金属製品 60件



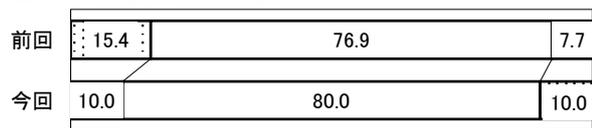
④一般機器 72件



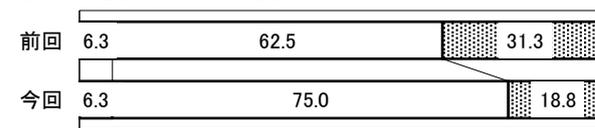
⑤電気機器 48件



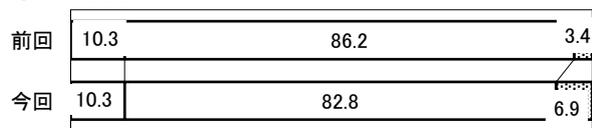
⑥輸送用機器 10件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 29件



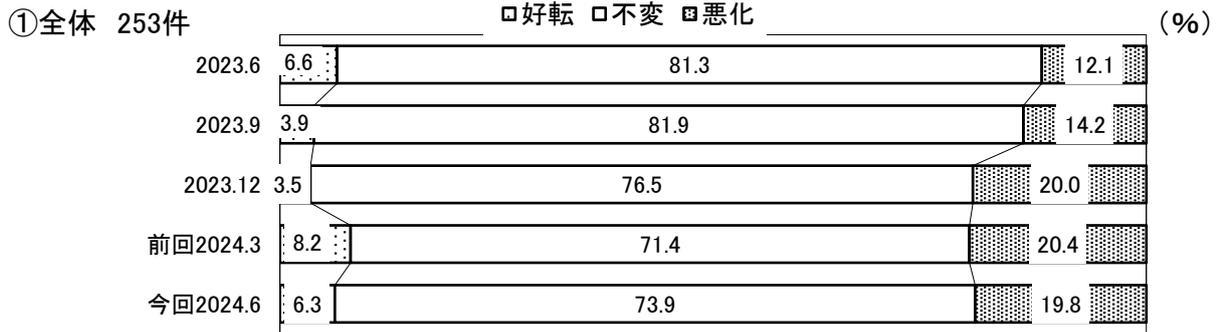
○全体

- ・4月～6月期の受注単価の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）7.9となり、前期（1月～3月期）のDI値5.7と比べて2.2ポイント増加と、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が若干増加した。

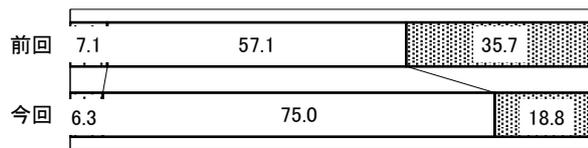
○業種別

- ・DI値は、鉄鋼・非鉄（31.2）、電気機器（18.8）、金属製品（10.0）、樹脂製品（3.4）、一般機器（1.4）の5業種でプラスとなり、精密機器（▲12.5）の1業種でマイナス、輸送用機器の1業種で±0となった。
- ・DI値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（24.0ポイント）、精密機器（12.5ポイント）、電気機器（8.8ポイント）の3業種で上昇。
金属製品（▲1.5ポイント）、一般機器（▲2.8ポイント）、樹脂製品（▲3.5ポイント）、輸送用機器（▲7.7ポイント）の4業種で低下となった。

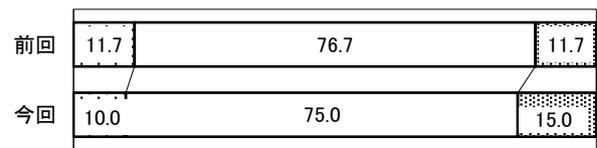
(4) 資金繰りについて



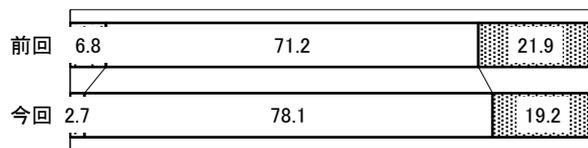
②鉄鋼・非鉄 16件



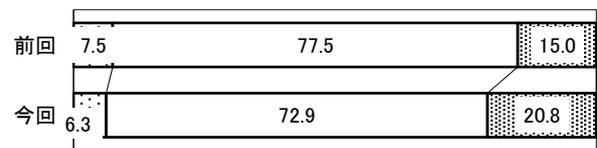
③金属製品 60件



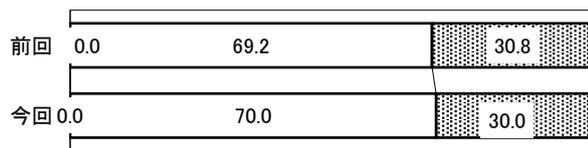
④一般機器 73件



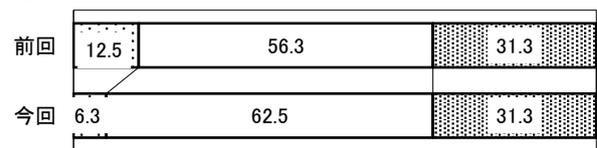
⑤電気機器 48件



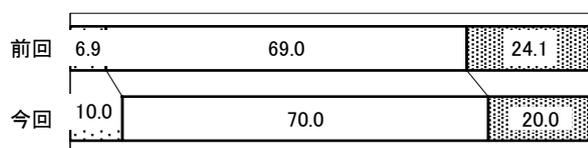
⑥輸送用機器 10件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 30件



○全体

- ・4月～6月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲13.5となり、前期（1月～3月期）のD I値▲12.2と比べて1.3ポイント減少し、前回調査時から「不変」と回答した企業の割合が若干増加した。

○業種別

- ・D I値は、金属製品（▲5.0）、樹脂製品（▲10.0）、鉄鋼・非鉄（▲12.5）、電気機器（▲14.5）、一般機器（▲16.5）、精密機器（▲25.0）、輸送用機器（▲30.0）の7業種全てでマイナスとなった。

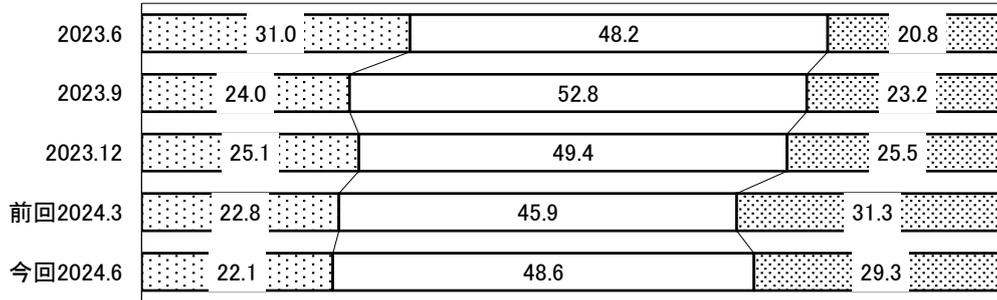
- ・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（16.1ポイント）、樹脂製品（7.2ポイント）、輸送用機器（0.8ポイント）の3業種でプラスとなり、一般機器（▲1.4ポイント）、金属製品（▲5.0ポイント）、精密機器（▲6.2ポイント）、電気機器（▲7.0ポイント）の4業種でマイナスとなった。

(5) 採算状況について

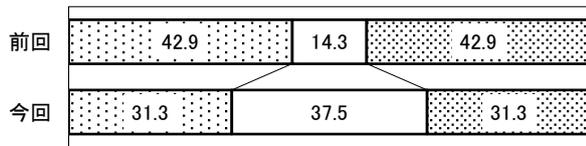
①全体 249件

□黒字 □収支トントン □赤字

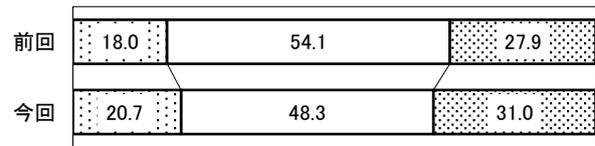
(%)



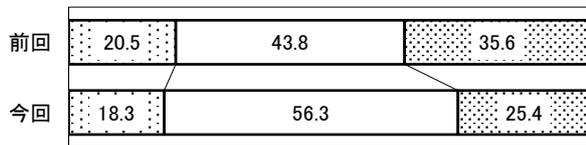
②鉄鋼・非鉄 16件



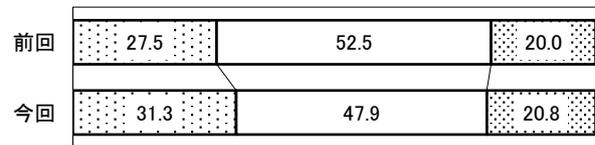
③金属製品 58件



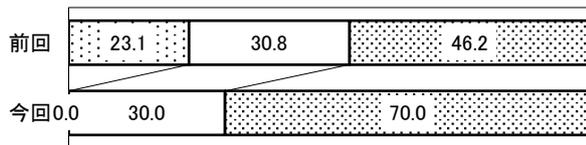
④一般機器 71件



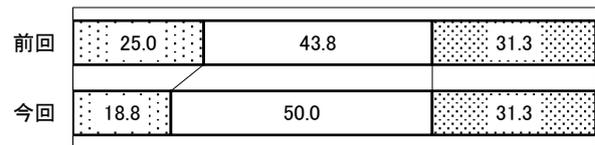
⑤電気機器 48件



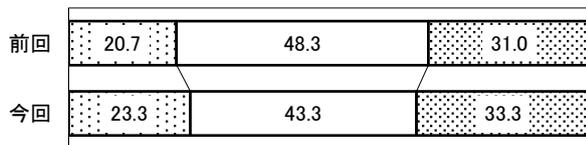
⑥輸送用機器 10件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 30件



○全体

- ・4月～6月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲7.2となり、前期（1月～3月期）のD I値 ▲8.5と比べ1.3ポイント増加、前回調査時から若干改善傾向が見られた。

○業種別

- ・D I値は、電気機器（10.5）の1業種でプラスとなり、一般機器（▲7.1）、樹脂製品（▲10.0）、金属製品（▲10.3）、精密機器（▲12.5）、輸送用機器（▲70.0）の5業種でマイナスとなった。鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となった。

- ・D I値を前回と比較すると、一般機器（8.0ポイント）、電気機器（3.0ポイント）、樹脂製品（0.3ポイント）の3業種で上昇。金属製品（▲0.4ポイント）、精密機器（▲6.2ポイント）、輸送用機器（▲46.9ポイント）の3業種で低下となり、鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となった。

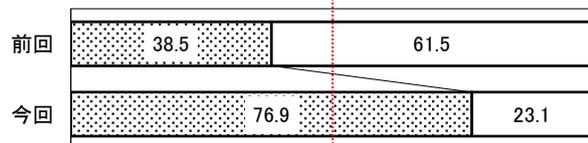
(6) 受注余力について

(%)

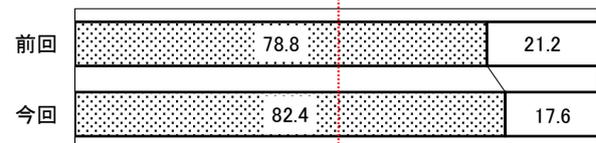
①全体 216件



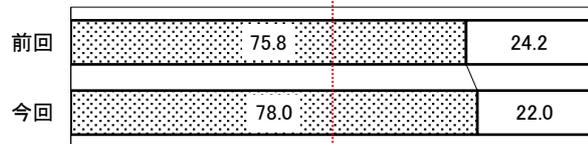
②鉄鋼・非鉄 13件



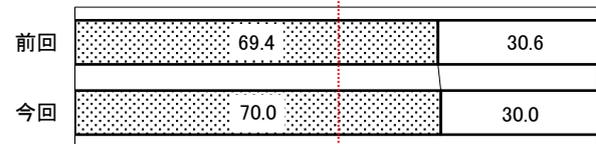
③金属製品 51件



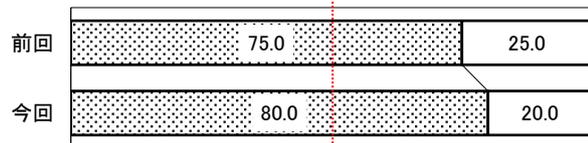
④一般機器 59件



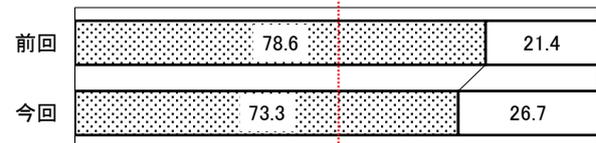
⑤電気機器 40件



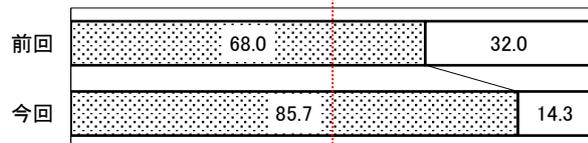
⑥輸送用機器 10件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 28件



○全体

- 4月～6月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は56.4となり、前期（1月～3月期）のD I値44.8から11.6ポイント増加となった。
- 4月～6月期は「受注余力あり」とする企業が78.2%と、前期の72.4%より5.8ポイント増加となった。
（受注余力あり」の割合が増加した＝マイナス傾向）

○業種別

- D I値は、樹脂製品（71.4）、金属製品（64.8）、輸送用機器（60.0）、一般機器（56.0）、鉄鋼・非鉄（53.8）、精密機器（46.6）、電気機器（40.0）の7業種全てでプラスとなった。

- D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（76.8ポイント）、樹脂製品（35.4ポイント）、輸送用機器（10.0ポイント）、金属製品（7.2ポイント）、一般機器（4.4ポイント）、電気機器（1.2ポイント）の6業種で前回比プラス、精密機器（▲10.6ポイント）の1業種のみ前回比マイナスとなり「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp